

第4回八頭町議会定例会 追加議案 提案理由

平成30年6月20日

報告第5号

若桜鉄道株式会社の経営状況について

6月15日に株主総会が開催され、事業報告がございました。

平成29年度の事業概要を申し上げますと、旅客人員は、32万5千人余で、前年比、1万4千人余の増加となりました。

これは、通学定期券の利用者が前年比で1万9千人余増加したことが主因でありますし、また、観光列車「昭和」がデビューした3月は普通旅客だけで、前年に比較して787人が増加しております。

旅客収入につきましては、高校生の通学定期利用者の運賃収入が増えたことにより、5,139万円余と前年比108万円余の増加となりました。

次に、安全対策としまして、踏切改良、枕木交換、橋梁補強など安全関連施設の修繕を行うとともに、八東駅行き違い施設の測量・設計業務を実施しております。

また、観光列車「昭和」の運行やグッズの製作を行うなど、営業収益の増加に努めたところです。

次に、収支の概要についてであります。平成29年度営業収益として運賃収入、JRに貸し出す車両使用料収入、若桜町及び八頭町から委託を受けて実施する枕木交換などの受託費、売店売上などの営業外収益を合計しますと、3億3,151万円余の収入がありました。この収入に対しまして、営業費用として人件費、業務費、運輸費、営業外費用などの支出合計額は、3億1,569万円余となり、法人税等を差引きました単年度決算では、1,280万円余の黒字となりました。

これは、旅客や若桜鉄道職員の他の鉄道支援による収入などが増加し、支出では人件費や除雪費などが大幅に減少したことにより、単年度決算が黒字になったものであります。

平成28年度までの累積赤字が556万円余ありましたので、当期末の株主資本合計は、1億724万円余となります。

以上で、平成29年度の若桜鉄道株式会社の経営状況の報告といたします。